

協議（2）直行坂東号の中間評価と令和3年度の運行について

<協議事項>
 令和3年度の運行について、現在の運行内容を継続する。ただし、沿線市との広域連携による運行の可能性を検討する。

1 直行坂東号の経過について

- ・ 直行坂東号は、守谷駅を經由した東京圏への交通利便性向上による転出抑制と定住促進を図ることを目的に、主なターゲット層を通勤・通学者とし、平日の朝1便と、民間路線バスの運行終了後の夜2便を運行委託している。
- ・ 年度途中の中間評価を行い、次年度の運行の協議を行うこととしている。

<運行経費・利用状況>

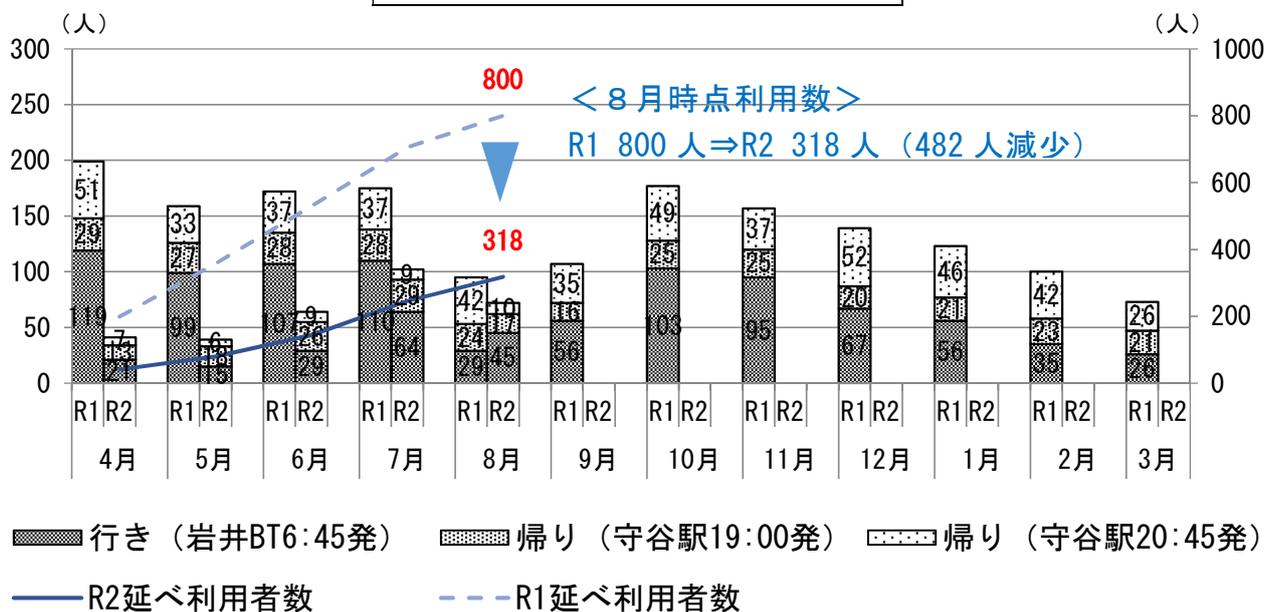
年度	経 費				利用状況		備 考
	合計 (千円)	市負担 (千円)	交付金 (千円)	円/便	合計 (人)	人/便	
H27	1,580	1,580	0	14,624	137	1.3	平日計6便/日(社会実験)
H28	18,834	0	18,834	13,079	2,844	2.0	平日計6便/日(社会実験)
H29	19,309	11,197	8,112	13,353	3,549	2.5	平日計6便/日(社会実験)
H30	19,750	9,875	9,875	13,715	3,291	2.3	平日計6便/日(社会実験)
R1	10,264	10,264	0	14,558	1,676	2.4	平日計3便/日

※H28. 3. 7 から運行開始

2 今年度の利用状況について

- ・ 契約額 10,998,900 円から運賃収入分を減額して支払い。

R2年度・R1年度利用状況の比較



< 1 便あたりの利用者数 >

令和 2 年度	行き 岩井 BT 発	帰り 守谷駅発			1 便あたり 平均
	6:45 発	19:00 発	20:45 発	帰り 2 便 の平均	
4 ~ 8 月	1.8 人	1.0 人	0.4 人	0.7 人	1.1 人/便
7 月	2.9 人	1.3 人	0.4 人	0.9 人	1.5 人/便

※ 7 月実績…緊急事態宣言解除（茨城県 5/14）後の参考

中間評価

- ・現時点では、朝の守谷駅行きは 1 便あたり 1.8 人、夜の守谷駅発は 1 便あたり 0.7 人、平均 1 便あたり 1.1 人である。7 月実績においても朝の便の需要は比較的に見込めるが、帰りの便の特に 20:45 守谷駅発の需要は低い。
- ・目標である 1 便あたり平均利用者数 3 人以上は未達成である。
- ・コロナ禍の外出自粛・在宅勤務等の働き方拡大等の影響により、利用状況は大変厳しい状況であるが、コロナ後の移動需要への配慮や地域の足は一度なくなると戻らない点を考慮のうえ、検討が必要である。